

16週 キリストの職務

質問 24. キリストは、どのようにして預言者職を遂行されますか。

答え I キリストは、私たちを救おうとする神の御心を、御言葉と御靈によって啓示なさることで、預言者職を遂行されます。

質問 25. キリストは、どのようにして祭司職を遂行されますか。

答え I キリストは、ただ一度、犠牲のいけにえとしてご自身を捧げ、神の公義を満足させ、私たちを神と和解させ、私たちのためにいつも執り成し続けることによって祭司職を遂行されます。

質問 26. キリストは、どのようにして王職を遂行されますか。

答え I キリストは、私たちをご自身に服従させ、私たちを治め、私たちを保護し、ご自身と私たちのすべての敵を抑制させ、征服することによって、王職を遂行されます。

解説

預言者の職務

キリストは預言者として、私たちの救いのために、神の御心を私たちに示されます。キリストは、救いのためにお示しになる神の御心、神のすべての計画と、

神が私たちの救いのために、何をどのように働かれるのかを知るようにさせ、それによって信じるようにさせます。

キリストが私たちを教える方法は、外的には、ご自身の御言葉によって教えること、内的には、御靈によって聖なる奥義を教えることです。それによって、私たちの救いに必要なすべてを知るようになさいます。キリストが私たちを教えることは、先ず、私たち自身の心を見るように教え、私たちがどれほど大きな罪人なのかを知るようさせ、私たちが虚無な被造物であることを知るようになります。そして目に見えないものの卓越性を悟らせます。キリストは私たちに、永遠の栄光の貴重性を知るようになさいます。

キリストの教える職務の卓越性

キリストが教えるのは、人間が教えるのとは異なります。人間はただ、耳に教えるだけですが、キリストは心に真理の光を照らし、靈的覺醒を起こさせて教えます。キリストは御言葉を吟味するようになさいます。ただ、食事を提供することとは異なります。またキリストは、私たちに従順するように教えます。そして、分かりやすく教え、真理を発見するのが難しくないようになさいます。一方で、キリストが教える時、人々に喜んで学ばせます。それで彼らが、神の御言葉について賛美するように造られ、その中で行うように造られます。キリストは、私たちが靈的に覺醒するように教えるだけでなく、靈的に生き、活気ある者として教えます。

祭司の職務

祭司の職務は、人々のために、神に犠牲のいけにえを捧げることです（ヘブル5:1, 8:3）。そして人々のために、神に執り成しの働きが任せられます（ヘブル

6:20, 7:24, 9:24)。キリストの祭司職は、律法の祭司長職とは異なります。律法の下にいる祭司は、アロンの位に従う祭司ですが、キリストは神としての大祭司です。律法の下にいる祭司は、罪がありますが、キリストは罪がありません。律法の下にいる祭司は死ぬべき人生だから、その数字は多いけれど、キリストは唯一の祭司であり、永遠に継続的に住まわれます。律法の下にいる祭司は変わることで、キリストは変わることはありません。

キリストの大祭司職務

キリストの大祭司職務は、二つの部分に構成されます。キリストは自発的従順によってすべての義を成就させました。キリストは律法が要求するすべてを行われ、その方の聖なる生き方は、律法と完全に一致することでした(Iペテロ 1:18-19, 2:24, 3:18、ロマ 10:4)。そして、キリストの受動的従順は、私たちのすべての罪をその方に転嫁させ、それに対する審判を受けられたことです。キリストはご自身を、犠牲のいけにえとしてお捧げになり、私たちのための犠牲の奉げでした。罪は、ただ血によって洗われることです。キリストはご自身が、自らいけにえとなられ神の公義を満足させました。その方は、罪人のために神に捧げられたなだめの供えでした。つまり、キリストは、自分から死なれることで、私たちの罪とその罪に対する刑罰を担われたことでした(Iペテロ 2:24)。

イエスはご自身を、贖いの代価として捧げるとも語られました(マタイ 20:28)。犠牲のいけにえとして捧げることで、私たちの罪過を除去なさっただけでなく、神が私たちを受け入れるようにされました。それによって、私たちの罪に対する、神の法廷的罪過は除去されて、神との敵対関係も除去されました。

キリストの執り成し

キリストは父なる神の御前で、ご自分の民のために執り成しを続けます。キリストは私たちの弁護者として、私たちのために執り成しの祈りをされます。さらにキリストの執り成しは続けられ、私たちはキリストにより力を得て、神の御座の前に進み出することができます。神はキリストの執り成しによって、その方の民を喜んで祝福なさいます。それゆえ、私たちが試みを受ける時には、キリストが執り成しておられることがあります。キリストの執り成しは、キリスト者にとっては、これとない慰めとなります。

王なるキリスト

キリストが王となられたのは、御父が定めたからです（詩2:6-7）。神は、キリストの法的職務として、その方を王と立てました。それゆえキリストは、すべての権威を持っておられ、無限なる力によって治めておられます。キリストが王となられるのは、ご自分の民を統治なさることです（ヨハネ1:49）。キリストはご自分の民の心を支配し、意志と情緒を治め、良心を主管なさいます。その一方では、キリストとご自分の民の敵に対しても、王の職務を行われます（詩110:2）。

ご自分の民のために、王となられるキリスト

第一に、キリストは、ご自分の民の上に王の職務を遂行されます。キリストと神とに敵となっていた者を召命し、ご自分の民として造るわですから、その民を先ず、ご自身に服従させます（コロサイ1:21）。このようにキリストは、ご自分の民を起こすために、先に服従させる働きは、御靈を通して成し遂げられます。が、罪と神の審判の下にいることを悟らせて、ただ、罪の赦しのためにキリストを求めて行くように造り変えながら、屈服されることです。

第二に、キリストはご自分の民を治めながら、王職を遂行されます。キリスト

は律法によって治めますが、聖霊を遣わして、彼らの心に律法を書き記して、また従順できる力と、意志をも与えます。

第三に、キリストはご自分の民を、王として保護します。キリストはご自分の教会を保持させ、オオカミからご自分の羊を保護なさいます。そしてキリストは王として、ご自分の民に賞を下賜します。キリストはご自分の民に、内的には平和と喜びを与え、将来に、永遠の重い栄光をお与えになります。

敵たちに対する、王の職務

キリストと、その方の民の敵たちは、悪魔・この世・肉体です。キリストは、敵たちがその方の民に関与できないように、それらを抑制させ、制限させ、束ねて除去させます。キリストは、敵たちの力を除去させ、彼らが、ご自分の民を統治できないようにさせます。キリストは、彼らの計略を無為にさせ、滅ぼすことで征服されます。ご自分の民が低くされ、一層情熱的な祈りを奉げ、彼ら自身が非常に弱くなっていき、敵たちがより強力に起こされる時に、キリストは王として、特に、ご自分の民を救われます。